



能登島っ子

海と健康と笑顔のある学校 緑と希望と助け合いのある学校 文責：湊口

3月に入りました。1月「行く月」、2月「逃げる月」、3月「去る月」と言い、月日が経つのは本当にはやいと感じます。さて、1年間の振り返りです。常に新型コロナウイルス感染症の対策を考えながらの教育活動でした。これまでなかったことです。また、1人1台端末の導入についても同様です。「文房具」として活用することが最終目標です。本校においても、活用の方法については、創意工夫を重ねています。

－検証Ⅲ GIGA スクール構想－

1 低学年もタブレットを使うことができますか？

タブレットを起動させるには、パスワードを入力しなければなりません。パスワードは、大文字小文字のローマ字や数字等混ぜる必要があります。低学年には高学年の児童が、どのキーをどの順に押すか、丁寧に教えてくれました。



2 情報モラル教育は大丈夫？

計画的に情報モラル教育の授業をしました。本校では、端末をうまく使っていこうという視点で進めています。

「情報を発信する時、どうしたらトラブルなく、うまくできるのか」必要なことや気をつけなければならないことを学習しました。



3 学習効果は？

例えば、オクリンクで自分のノートを送り、学級内で共有したり、注目してほしいことをアップにし伝える工夫をしたりしました。また、授業では、考えを色分けして表示することで、一覧を見るだけで同じ考え方をしている児童同士が話し合っ、学びを深めることができました。さらに、上級生は自分の意見を上手にまとめ表示（プレゼン）していました。

次年度に向けて

今年度は、とにかく慣れることが重要とされてきました。今後は、家庭に持ち帰ったり、他の人の考えを知りもっと考えを深めたりするために使用することが求められています。

－検証Ⅳ ふるさと学習－

「能登島学」について

総合的な学習の時間及び生活科で取り組んだ、「ふるさと学習」です。6年間を見通して、計画的に学習を進めています。能登島の良さを見学や体験で知り、「能登島こども会議」で発信します。

次年度に向けて

今年度は新しく能登島で事業を始めた方々からも学習の機会をいただきました。伝統として守り残していく豊かな自然や風景について、もっと知り、同時に新しい考え方についても理解を深め、最終的には自分たちの「ふるさと能登島」をどのように守っていくかを考える、持続可能な取組を探る必要があります。

学 年	学習内容
2年生	能登島ゴルフ場見学、サツマイモ栽培
3年生	能登島ガラス美術館見学、お祭り紹介
4年生	茶摘み体験、イルカウォッチング、他
5年生	稲作（田植え・稲刈り）体験
6年生	能登島こども会議

本校伝統の『能登島こども会議』は、「総合的な学習の時間」を使って、能登島地域づくり協議会との連携で進めてきました。「総合的な学習の時間」では、教科の枠にとらわれず、様々な学習が可能で、各教科で学習した内容を、統合・発展させて学習を進められるのです。

今年度は、大変大きなテーマで学習活動を進めました。しかしこの学びは、変化著しい現在の社会において求められる資質能力を育成することに資する内容であったと思います。

－6年生『能登島こども会議』総集編－



今年のテーマ

テーマ設定理由

PRしたい内容

全体を通して、石川テレビが取材していました。三木さん、お世話になりました。

『能登島の良いところを伝えて、移住者を増やすためのPR動画を作る！』
能登島の人口減少の実態を知り、このまま人口が減少すると、どうなるか想像した。その結果、人口減少を止めたいと思い、能登島を離れた人や、移住を考えている人に、能登島の良さを伝えて、能登島に来てもらおうと考えた。

・スポーツグループ【最優秀賞】
子育て世代を対象に、能登島にあるスポーツ教室を紹介する。恵まれた練習環境で、充実した練習ができることを伝える。

・環境グループ【優秀賞】
能登島の素晴らしい海岸の風景やそこに魅せられ働く人の話をもとに、いかに自然豊かなところであるかを伝える。

・活気グループ【優秀賞】
能登島の伝統的な祭り「向田の火祭り」について、関わる人々の祭りに対する「想い」を聞き取り、熱意を伝えた。

・観光グループ
能登島の観光スポット「能登島水族館」を訪問し、館長さんに質問したことを伝える。

・飲食グループ
能登島にあるレストランを訪問し、工夫していること等を伝える。食レポにも挑戦した。

活動を終えて・・・

能登島地域づくり協議会の方々との連携により、子どもたちは能登島の現状から課題を見つけ、解決策を探り、それぞれが自分の考えをプレゼンするという学習過程を経験しました。途中、大人の世界では当たり前前のインタビュー前のアポ取りであったり、予期せぬトラブルへの対処であったり、学校内や教科書だけでは学べないことを体験できたと思います。1人1台端末の活用も有効だったと思います。 ☆動画配信：You Tube 「能登島こども会議」 で見ることができます。

－グッドマナーキャンペーン「感謝の気持ちを伝えよう」－

石川県教育委員会生涯学習課より、今年度の本校のグッドマナーキャンペーンの取組が、来年度の取組事例集に掲載されることになったと連絡がありました。また、県の「心の教育推進協議会」で事例発表の依頼があり、県教育長の前で発表してきました。内容は、バスの運転手さんと挨拶運動の方々のインタビュー動画を見て、お礼のメッセージを送る内容です。

協議会の助言者 金沢大学准教授 原田 克巳先生の評価

- ・子どもたちの感謝の気持ちを表そうという思いは、育むものである。
 - ・本取組は、地域とつながっているという意識がないとできない。
 - ・サイレントサポーター（顔も知らない人のサポート）のような、いろいろな人の支えがある。
- 例えば、バスの運転手さんのサービスは、実は、あなたのためのサービスなんだと気付ける。
- ・ICTの活用が、大変有効であった。

以上の指導助言内容でした。改めて勉強になりました。

Let's call..オアシスライン

受付時間： 13:00～16:00(月曜～金曜)

対象： 小中学生及びその保護者

相談内容： 悩んでいること、困っていること

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。～オアシスライン担当～

～親と子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783